

第 146 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2024 年 6 月 5 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1 階交流フロア

2 参加者 18 名

3 会議内容

<新規内容>

（1）第 2 回きつと誰かに話したくなる！京都のこんな話・あんな話

【概要】

- ・5 月は好評だったので、第 2 回を開催したい。
- ・行事、伝説、建築物、あとは京都の有名企業について話したい。
- ・日本の歴史と言えば京都なのでいくらでもあり、どこを切り取るか悩んでいる。

【意見】

- ・後ろに座る人には、ホワイトボードの下が見えないのではないかな。
- 当たり前のことに気づけていなかった。次回以降気を付ける
- ・視覚障害者が参加した場合、どのように対応するのか。
- 言葉でできる限り伝える。
- ・建築マニアが喜ぶような建築的特徴の話なのか、歴史的な紹介か。
- これまでの経験上、ちょっと興味をくすぐるような話の方が喜ばれるので、その視点から何を紹介するのか考えたい。
- ・パワーポイントなどでデジタル化しないのか。
- ホワイトボードが好きだから、補助的にパソコンは使うものの、基本はホワイトボードを使って話したい。

（2）90 分の視覚障がい体験カフェ

【概要】

- ・誰もが取り残されない社会を作ろうという声が大きくなっている一方で、目が見えないことはわかっているけど、それがどういうことかはわからないから、見えていること前提で話をする現状がある。
- ・イベントでは、受付を含め全員目隠しをする。受付表を渡して記入し、食器を使って配膳と食事を模擬体験。その後 5 分間のトイレ休憩を体験する。
- ・体験後、視覚障がい者にどんなサポートすればいいのか話し合いをすることで、気づきの場とする。その気づきを家庭や職場などに持って帰るイベントにする。

【意見】

・安全のため、サポートする人が必要と考える。

→人類が全て視覚障がい者の世界を表現する為に、このイベントを企画した。このことからサポートは置かない方針。今は、健常者が前提となった社会となっている。それと全く違う世界を作りたい。安全面は配慮しながらやっていこうと思う。

・健常者でないと参加できないと思うが、どのように広報するのか。

→参加する本人の意思に任せる。

(3) おことでひこう！うみ

【概要】

・箏は 1200 年以上の歴史があるが、間近で聞いたことがない人がすごく多い現状がある。

・子どもたちに演奏の機会をつくり、楽器のことを知ってもらいたい

・前はキラキラ星をひいたが、5 分ぐらいで出来るようになったので、練習曲以外も弾けるようにドレミが分かるようにする。

【意見】

・うみ以外の曲も弾けるのか。

→初めての子がいると考えて、キラキラ星や隣のトトロも用意する。

・どれぐらい小さい方が参加できますか。

→5 歳以上にしている。

・ことば蔵の方々にその時の年齢層や保護者の方々の反応とか聞きたい。

→弾くことを楽しんでいた。保護者の反応は、子どもにいい経験ができたこと、楽しそうにしていたよかったとの意見があった。

・大人の私でもやってみたい。この企画は子どもに限らず、他の世代でもしてほしい。

(4) 知って得する教養講座「相続登記の義務化」と「法務局への遺言書補完制度」

【概要】

・相続登記の令和 6 年 4 月 1 日からの義務化や、遺言書を法務局で預かる制度が開始され、これらの関係する法律と制度について伊丹支局への問い合わせが殺到している。

・これらの理解を深める講座を開きたい。

【意見】

・なぜ開催日時を平日の午前 10 時からにしたのか。

→開庁時間ということで、平日とした。

→聞きに来られる方は高齢者が多いと考えると、平日の時間帯が良いと思う。

・タイトルをわかりやすくできないか。サブタイトルで分かり易い説明をいれてはどうか。

→ご意見を伺って、検討する。

・煽りすぎるのもよくないが、3 年以内にやらないとペナルティがあるなどの表現はどうか。

<開催イベントの相談>

(1) 英語で楽しもう～七夕～ (7月4日開催)

・5分間をアイスブレイク、10分間を読み聞かせ、5分間を一緒に歌い、全体で20分の構成にしている。

・10分の読み聞かせを5分にして残りの5分で短冊づくりにしようかと思うが短冊づくりは20分ぐらいかかるのでどうしようか悩んでいる。

【意見】

・3歳と6歳では能力差が大きく一緒に短冊を創作するのは難しい

・予約の受け付けた方の年齢によって検討したらどうか。

・英語でやるのなら、申し込みの段階で名前がわかるので、折り紙でアルファベットの紙を作り短冊に貼ることなら3歳でも6歳でもできる。

・リトミックを初めての場所で子どもがいきなりするのは難しく、その前段として体を動かしてみるとか、笑ってみるとかの準備運動をすれば5分ぐらい必要。

→準備運動を入れてもいいと思った。

・七夕を伝えたいのか、英語を楽しみたいのか考え直す。

→英語を親しめるものにしたいので、絵本の読み聞かせを10分のままにして、少し内容を膨らませてみる。

<イベント報告>

(1) 共生社会を感じてみよう！90分筆談カフェ

参加者は4名。受付前から参加者に耳栓をしてスタートした。耳の聞こえない状況で筆談でのコミュニケーションが大変だということを、90分間体験した。健常者は見える、聞こえるが当たり前で、一つでもかけると困惑する。このイベントで障害者への気付きになってほしい。

(2) 朗読ライブ～昭和の源氏物語～与謝野晶子と田辺聖子

定員50人は多いと思ったが、聞こえ難いという意見はなかった。時間が長い、朗読の構成をあらかじめ分かっている方が聞き易いという意見があった。朗読は良い反応だった。解説や学芸員から聞いた話を交えた方が反応良く、イベントであれば正解と感じた。

(3) 気になる本で話そう GW 特別編絵本&クイズで防災タイム

子どもの日ということで、子どもも大人も楽しめるようなイベント的なことを行った。テーマは、防災ということで、クイズやこんな時どうしたらいいのかななどの話をした。子どもが7人、小学校前の子が1人で、小学生が6人で、大人が14名の計21名でした。

(4) きっと誰かに話したくなる！京都のこんな話・あんな話

定員 30 名に 45 名参加があった。京都のことがわかった、教科書に載っていないことがわかった、また開催してほしいという意見があった。柱があって見えにくかった、声が聞き取りにくかったなどの意見もあり今後検討する。

(5) リアアップデコレーション

小さなフィギュアに紙粘土で台座を作るイベントで、対象を高齢の方にしたが、該当の参加者は男性 1 名、女性 1 名で、他に小さいお子さんとその保護者を含めて 15 組が参加した。高齢男性は台座だけでなく、粘土で造形物も作った。参加した女性はフィギュアを 4 体ぐらい持ってきて楽しんだ。子どもは紙粘土を触るのが初めてで楽しんでいた。予定人数を 8 名と限定し始めようと思っていたが、順々に来られたので結果的に良かった。

(6) ことそうし

参加者は 4 名。最近メンバーが固定され雑談状態の時間が続くときがあるが、新しい人が増えれば新しい文章が出てくると思う。「ことそうし」の活動は、自分で書いた、文章を読み上げて、みんなの意見を聞きながらより良い文章作っていくもの。

次回は 7 月 13 日(土)13 時～。

(7) 防ごう！特殊詐欺被害

26 名の参加があった。前半は伊丹警察署の生活安全課の方に特殊詐欺について話をしてもらい、後半に地域でみんなが被害に遭わないための話をした。

(8) 漫画を語ろう

参加者の 1 人がサイボーグ 009 のミュージカル見に行った話で盛り上がり、楽しい時間をすごせた。今回初めて参加してくれた若い女性の方は、ホームページを見て参加してくれた。最近では 7 名か 8 名が平均的な参加人数である。

次回は 6 月 26 日(水)18 時 30 分～。

(9) 知的書評合戦ビブリオバトル

テーマが夢で、バトラー 5 名が色々な本を紹介した。チャンプ本は、ヒトラーのパロディー小説。ことば蔵に所蔵されているので気になる方は借りて読んでみて欲しい。

次回は 7 月 20 日(土)14 時～テーマ「海」で開催。

(10) 男性も必見！女性のための遺言講座

26 名の参加があった。反省点は悩みを持っている方が多く、もう少し質問時間を取ればよかった。話の中で認知症の方々のことに触れた時に注目度があがったので、認知症のご家族

を持つ人の悩みに答えられるような、青年貢献の内容であるとか、家族信託の講座とかをしてみたい。

（１１）すき間時間に代謝をあげよう！ながら椅子ヨガ
脂肪を燃やすこと、代謝を上げることを主軸に進行した。最初に座学を入れたことで注目度が上がったと思う。反省点は、質問の時間が取れなかったので、終わってから質問に来られる方が多くあり、次回やる時は質問タイムを取るようにする。

４ 次回の運営会議 2023 年 7 月 3 日（水）18：00～ ことば蔵 1 階 交流フロア